

## 近畿圏広域計画検討会議 第10回幹事会

1. 開催日時：平成20年2月28日（木） 10:00～12:00

2. 場 所：大阪合同庁舎1号館 第1別館3階 第4会議室

3. 出席者：別紙参照

### 4. 議事要旨

#### (1) 目指す姿を実現するための戦略について

- ・ 各機関が発言内容に対応する文案を作成するとともに、時間の都合上発言できなかったものを反映させるために改めて意見照会を行い、それらを集約していくこととする。
- ・ 具体の機能や実施主体が明確でない戦略については、今後、集中的に議論していくこととする。

〈各機関から出た主な意見等〉

- ◇「1. 歴史文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域」
  - ・ 遺産、資産の使い方を明確にするべき。
  - ・ 歴史・文化に根付いた近畿の価値を活用し、世界に発信するという戦略も必要。
- ◇「2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核」
  - ・ 首都機能移転について、より積極的に記載すべき。
  - ・ 文化首都については、国の機関の誘致以外に既存の機関の拡充も必要。また、和や精神的なよりどころを生かしその集合体が文化首都になるという視点が欲しい。
  - ・ バックアップについては、常在での体制強化の視点も必要。
- ◇「3. アジアをリードする世界に冠たる産業創造・交流拠点」
  - ・ アジアゲートウェイに関する物流と国内物流とは分けた方が良い。
  - ・ 日帰り圏の拡大については、ネットワークの拡充というより、早朝や深夜など時間帯の拡充の方が現実的。
- ◇「4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進地域」
  - ・ 圏域独自のCO2削減目標が設定できなければ削除すべき。
  - ・ 流域・海域管理は、既存の体制があり、さらに新たな体制は必要ない。
- ◇「5. 都市と自然を日常的に享受できる圏域」
  - ・ 過疎地域に関わる政策を項目立てして欲しい。

#### (2) 新たな公について

- ・ 今後、新たな公に関する資料を事務局にて作成し、意見照会する。

#### (2) 近畿と関西の取り扱いについて

- ・ 近畿圏広域地方計画においては、「近畿圏」の語句を使用しなければならない

場合を除いて、近畿圏やそれに近い区域を表す言葉を「関西」に統一して使用することで合意。

### (3) その他

- ・ 全国計画の閣議決定が年度末までに行われるかが現時点において流動的であるため、3月27日に予定している第1回近畿圏広域地方計画協議会の開催についても変更になる可能性がある。
- ・ 第1部の現状と課題については、事務局で再整理ができ次第、意見照会を行う。
- ・ 第4部の具体的な取組については、個別事業の書きぶり等に関する全国レベルでの議論の結果を踏まえとりまとめるものとし、意見照会は改めて行う。